

科目名	<b>財政学</b>	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			経済 学科 □必修 ■選択
			法律 学科 □必修 ■選択
英文表記	<b>Public Finance</b>	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	くすやま ひろあき	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	<b>楠山 大暁</b>	修得単位	<b>2単位</b>
授業のテーマ	政府の役割と仕組みを経済学的に理解し、あるべき財政の姿を設計する		
授業概要	今、日本の財政は極めて厳しい状況にあり、痛みを伴う改革が求められています。よりよい日本の未来を作るために、改革はまったなしで実行に移さなくてはなりません。本講義では、複雑な財政の問題を経済学的に分析して理解することで、あるべき財政の姿を考えていきます。		
到達目標	財政の現状について経済学的に理解し、あるべき財政の姿を自分なりに描けるようにする		
授業時間外の学習	指定したテキストの該当箇所をよく読んでください。 期末試験のほか、中間テストを実施します。講義の復習をしっかりとってください。		
履修条件	ミクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅰ、財政学入門を履修していることが望ましい。		
授業計画			
第1回	ガイダンス、財政学の系譜		
第2回	政府の役割		
第3回	市場と政府		
第4回	財政の仕組み		
第5回	公共財		
第6回	経済政策		
第7回	社会保障制度		
第8回	中間テスト		
第9回	社会政策		
第10回	税制の設計		
第11回	直接税		
第12回	間接税と税制改革		
第13回	政府の借金		
第14回	地方分権		
第15回	地域包括ケアシステムとコンパクトシティ		
第16回	定期試験		
テキスト	山重慎二(2016)『財政学』中央経済社		

参考文献・資料	小川光・西森晃(2015)『公共経済学』中央経済社
成績評価の方法	<p>【平常点(10%)、中間テスト(40%)、定期試験(50%)】</p> <p>上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席回数が規定に満たない場合は試験を受けることができません。</li> <li>・授業の理解及び予復習が充分であることを確認するため、第8回授業時に中間テストを実施します。</li> </ul>
成績評価基準	<p>【平成27年度(2015)以前に入学した学生】</p> <p>優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</p> <p>【平成28年度(2016)以降入学した学生】</p> <p>秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</p>
オフィスアワー	<p>毎週月・木曜日 14:40~16:10</p> <p>※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。</p>
学生へのメッセージ	現在の政府の活動について理解し、望ましい政策のあり方について考えましょう。